

1 単元名

This is for you. カードをおくろう

2 単元の目標

(1)聞くことア (2)話すこと[やり取り]イ		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
日本語と英語の音声の違いに気づき、色や形の言い方や互いの欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	仲間に喜んでもらえるグリーティングカードを作るために、相手や場面に応じて、欲しいものを尋ねたり答えたりする。	仲間に喜んでもらえるグリーティングカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、欲しいものを伝え合おうとする。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①聞くこと	色や形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を聞くことに慣れ親しんでいる。	仲間に喜んでもらえるグリーティングカードを作るために、仲間とのやり取りをとおして、相手の欲しいものが分かっている。	仲間に喜んでもらえるグリーティングカードを作るために、相手に伝えたいことを考えながら聞こうとしている。
②話すこと「やり取り」	色や形等、身の回りの物について、What do you want? ○○, please.等の表現を用いて自分の欲しいものを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	仲間に喜んでもらえるグリーティングカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形等、身の回りの物について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。	仲間に喜んでもらえるグリーティングカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形等、身の回りの物について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

4 単元について

本単元は、色や形を表す語句や欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を用いてグリーティングカードを作り、紹介し合う活動をとおして、コミュニケーションを楽しむようになることをねらいとしている。

本単元は、相手の好きな色や形を使って、伝えたいことを英語で仲間に伝えるという、目的や相手意識がはっきりしている学習である。商品の売り買いをする活動を取り入れ、グリーティングカードに使う色や形を商品として扱うことで、英語で会話する楽しさを味わわせることができる。また、世界のグリーティングカードを知ること、異文化への理解が深まり日本の年賀状等のよさにも気付くことができる単元である。

本単元は、相手の思いや考えを汲みながら共感的に聞こうとしたり、仲間を尊重して表現を高め合おうとしたりする態度の育成が期待でき、本校のめざす言語能力及び協働力を育むうえで意義深い。

5 子どもについて

子どもは、これまでチャンツやゲーム、会話等をとおして、英語を使って好きなものを尋ねたり、クイズを出したり答えたりする活動に慣れ親しんできた。年度当初は自分の考えを英語で表現することに対する不安が大きかったが、積極的に英語を使って仲間とやり取りを楽しめる子どもが増えてきた。ペア活動のなかで、学習した英語表現を使ったり、分からない表現は教師に聞いて話そうとしたりする子どももいる。

外国語活動においては、単元ならではの表現を用いたやり取りを段階的に経験させることで、仲間とそのやり取りをしてみたいという意欲をもつことができてきた。しかし、やり取りのなかで、話し手がもっと話したくなるような反応の仕方を理解して実践する姿はあまり見られない。そのため、仲間の表現と反応のよさを認め合いながら、互いの表現を高め合うことができるように、指導を継続している。

6 子どもが「学びをつなぐ」ための学習指導

○ 研究内容1：仲間と共に学びをつなぐ言語活動の在り方

本単元では、仲間の欲しいものを尋ね合い、相手にグリーティングカードを贈るという単元ゴールを設定する。そうすることで、仲間について知る楽しさや伝わる達成感を味わわせながら、やり取りを楽しませたい。また、毎時間の導入において、少しずつ語句や表現を増やししながら、既習表現を生かした教師と子どもとのやり取りを行うことで、仲間とのやり取りに必要な表現に気付かせ、言語活動の際に生かすことができるようにする。

本時は、店員と客に分かれて、商品の売り買いをする活動を取り入れることで、相手の欲しいものを尋ねたり、自分の欲しいものを伝えたりするやり取りに必然性をもつことができるようにする。商品の売り買いに必要な表現は、教師と子どものやり取りから気付くことができるようにする。会話マップを利用しながら仲間とのやり取りを行わせることで、相手に伝わった表現や反応を全体で共有し、達成感を味わえるようにする。また、仲間とのやり取りの途中で気付いた、会話が楽しくなる表現や反応を全体で共有することで、仲間と協働することのよさに気付かせたい。ふりかえりでは、ゴールへの達成感や単元終末の言語活動に対する意欲的な発言を全体で共有することで、今後のコミュニケーション活動や表現の高まりに期待をもつことができるようにしていきたい。

7 単元指導計画（5時間）

階	主な学習活動及び学習内容	主な教師のかかわり	知・技	思・判・表	態
生み出す (1)	1 教師と子どものやり取りや世界のグリーティングカードの動画から単元ゴールを知る。〈1時間〉 ○ 形を表す表現 ○ 欲しいものを伝える表現 単元ゴール 仲間が喜んでくれる、感謝の気持ちを伝えるグリーティングカードを作って贈る。	○ 子どもにとって聞き慣れた英語を用いた歌やチャンツを行うことで、形や欲しいものを伝える表現に慣れ親しむことができるようにする。 ○ 仲間に贈るグリーティングカードには、どのような色や形を使うと、相手が喜ぶかを考えさせることで、形や	「知・技」や「思・判・表」については記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。	①②	
挑む (3)	2 ペアで相手の欲しいものを尋ね合い、グリーティングカードを作る。〈1時間〉 ○ 形や色を表す表現 ○ 欲しいものを尋ねる表現 3 (グリーティングカードを贈る仲間に) 好きなものを尋ね、相手にどんなグリーティングカードを贈るかイメージする。〈1時間〉 ○ 欲しいものの尋ね方や答え方 4 店員と客に分かれて、商品の売り買いをする。〈1時間〉 ○ 店員と客の尋ね方や答え方 A: What do you want? B: Big blue circle, please. (大きさ, 色, 形) A: How many? B: Three, please. (数) A: O.K. Here you are. B: Thank you. A: You're welcome.	○ グリーティングカードを贈る相手に既習表現を生かして好みを尋ねる活動を取り入れることで、やり取りに必然性と目的意識をもつことができるようにする。 ○ チャンツやゲームのなかで、繰り返し欲しいものを尋ねたり答えたりする活動を取り入れることで、What do you want?や○○, please.等の表現に慣れ親しむことができるようにする。 ○ コミュニケーションのポイントを確認して相手の欲しいものを質問させたり、聞かれた質問に答えさせたりすることで、上手な話し方・聞き方について考えることができるようにする。 ○ 仲間とのやり取りの途中で気付いた、会話が楽しくなる表現や反応を全体で共有することで、仲間と協働することのよさに気付くことができるようにする。 ○ 商品の売り買いに必要なやり取りについて、会話マップ(欲しいものを尋ねたり答えたりするために必要な情報)を掲示して共有することで、尋ねたり答えたりする内容を確認しながら話すことができるようにする。	②	②	②
生かす (1)	5 グリーティングカードを完成させて仲間に贈る。〈1時間〉 ○ グリーティングカードの紹介	○ 完成したグリーティングカードについて、どのような色や形を使ったのかを英語で紹介し、相手に贈る場を設定することで、仲間と協働する喜びを感じることができるようにする。	①	①	①

8 本時の目標

仲間が喜んでくれるグリーティングカードを作るために、欲しいものを尋ねたり答えたりする。

9 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり（★は評価にかかわるもの）
1 単元ゴールのイメージから「目的」、「場面や状況」を確認し、本時のめあてを設定する。 ○ 歌 ○ 本時のめあて 仲間が喜んでくれるグリーティングカードを作るために、欲しいものを伝えて買い物をしよう。 2 商品の売り買いをする活動を行ううえで会話に必要な表現を確認し、チャンツによって表現に慣れ親しむ。 ○ 欲しいものの尋ね方や答え方 ○ 会話に必要な表現 ・ What do you want? ・ ○○, please. ・ Here you are. ・ Thank you. ・ You're welcome. ○ 聞き方 ・ コミュニケーションのポイント 3 学習した英語表現を使って、仲間とやり取りを行う。 ○ 教師と子どものやり取り ・ やり取りの例 A: What do you want? B: Circle, please. A: What color do you want? B: Blue, please. A: Do you like blue? B: Yes, I do. A: 反応 Big or small? B: Big, please. A: 反応 How many? B: Three, please. A: 反応 Here you are. B: 反応 Thank you. A: You're welcome. you. ○ お店屋さんでのやり取り ・ 前半 ・ よいところの共有 ・ 後半 ・ よいところの共有 ○ 代表によるやり取り 4 本時の学習をふりかえる。 ○ ふりかえりの視点 ・ 自分や仲間ができるようになったこと ・ 欲しいものが相手に伝わったときの気持ち ・ 相手が話したくなる反応	○ 単元ゴールであるグリーティングカード作りに向けて、「目的」、「場面や状況」を確認することで、本時の見通しをもつことができるようにする。 目的: 仲間の好みを知り、仲間が喜んでくれるグリーティングカードを作る。 場面や状況: 店員に欲しいものを伝え、客の欲しいものを聞いて渡す場面。 ○ 商品の売り買いに必要なやり取りについて、会話マップを掲示して確認することで、尋ねたり答えたりする内容を確認しながら話すことができるようにする。 ○ 掲示物を基に、既習の語句や表現を使ったチャンツや、教師と子どものやり取りで会話に必要な表現をふりかえらせることで、コミュニケーションのポイントに気付くことができるようにする。 コミュニケーションのポイント 伝わる声、アイコンタクト、表情、ジェスチャー、うなずき、相手が話したくなる反応 ○ 教師の実演や子ども同士のやり取りから、様々な反応を見せ、聞き手の反応としてどのように感じるかを考えさせることで、話し手が話したくなるような反応に気付くことができるようにする。 予想される子どもの反応 Nice. Good. O.K. I see. Wow. Me too. リピート 会話マップ 必要な情報 { ① 数・・・欲しい数を尋ねる ② 大きさ・・・大きさを尋ねる ③ 色・・・欲しい色を尋ねる ④ 形・・・欲しい形を尋ねる ★ 教師と子どものやり取りからの気付きを問い、板書に掲示して共有させることで、コミュニケーションのポイントを意識したやり取りができるようにする。 ○ 仲間とのやり取りの途中で気付いた話し方、聞き方のよさや仲間のよいところを全体で共有することで、仲間と協働することのよさに気付くことができるようにする。 ○ 本時でめざす姿について、ふりかえりの視点を基にふりかえらせ、共に活動した仲間と共有させることで、コミュニケーションの楽しさや、表現の高まりを実感することができるようにする。

10 本時の評価規準

相手が伝えたいことを考え、コミュニケーションのポイントを意識し、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとしている。
(態度②)【行動観察・記述分析】